

## センターあいづ 取り組みの様子

センターあいづでは、学校や地域の子どもたちの成長を支えるため、校内や地域で様々な取り組みをしています。センターあいづの活動の一部を御紹介いたします。

### 校内教育相談

センターあいづでは、校内の保護者の方の教育相談を随時受け付けております。

別紙の「校内教育相談のリーフレット」も再度ご覧ください。

ちょっと話をしたいな、話を聞いてほしいな、というスタンスで大丈夫です。センターあいづでは、保護者の方とお話することを通して、お子さんのことを一緒に考えることができれば、と考えています。



### ホッとサークル

11月1日(火)は小学部の保護者の方、2日(水)は中学部、高等部の保護者の方を対象に、ホッとサークルを実施します。保護者の方同士が情報交換をしたり、悩みを話し合ったりする場になるよう準備をしてお待ちしています。

ホッとサークルの様子については、次回の「笑顔のかけはし」でお伝えします。



### あそびの教室

今年度も年6回の開催を予定し、スタートしました。第1回では、昨年度から参加されているお子さんの参加も多く、あそびの教室を楽しみにしていただいていることを感じました。第2回、第3回はコロナ感染状況が拡大していたこともあり、中止となりましたが、残り3回のあそびの教室を、さらに充実させていきたいと思えます。

第3回は、11月7日(月)に開催いたします。身近にあるもので楽器を作ったり、作った楽器を音楽に合わせて鳴らしたりする活動を行います。



### 出かける支援

地域の幼保こども園、小学校、中学校、高等学校からの依頼を受け、出かける支援を行っています。

困り感をもっているお子さんたち、どのような支援がよいのか迷いながら指導をされている先生方に寄り添い、より良い支援策を一緒に考えることを大事にしながら対応しています。

会津地区の特別支援教育のセンター的機能の役割を担えるよう取り組んでいます。

### 特別支援教育研修会

地域の幼保こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、教育関係機関の先生方を対象に研修会を実施しました。

山形大学教職大学院教授の三浦光哉先生から、「通常学校における発達障がいのある子の具体的な支援」の演題でご講演をいただきました。発達障がいのあるお子さんへの基本的な対応方法、学校や学級でできる環境調整方法などの具体例を交えながらお話いただき、参加された先生方から、「実践に生かせる具体的な話を聞くことができた。」という感想をたくさんいただきました。今後も、会津地区のニーズに応じた研修の場を検討していきたいと思えます。